第1号様式
所属進行表

業務運営進行表

（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

所　属	局名	部名	室・課（出先は所属）名
	教育局	―	小田原養護学校

Ⅰ　業務概要

小学部、中学部、高等部本科（普通科）

Ⅱ　収支の状況

（単位：千円）

			第１・四半期	第２・四半期	第３・四半期	第４・四半期	出納整理期間	累計
収入	収入科目	年間計画額	収入済額					
	使用料及び手数料	1,614	1,575			-4		1,571
	財産収入	456	451	3	3	5		463
	その他	933	14	8	20	18		60
	収入計(A)	3,003	2,040	11	24	19	0	2,094
支出 事業経費	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費	72,818	8,363	16,117	16,989	20,987	10,362	72,818
	維持管理費	24,691	3,372	5,308	4,587	8,659	2,766	24,691
	計	97,509	11,735	21,425	21,576	29,645	13,128	97,509
人件費	給与（下記手当を除く）		195,503	190,664	197,581	196,427		780,175
	通勤手当		8,209	1,319	7,941	1,335		18,803
	期末勤勉手当		126,280		133,104			259,383
	給与計		329,991	191,983	338,626	197,761		1,058,361
	共済費相当額		49,733	49,639	49,739	49,570		198,681
	退職手当相当額		24,331	24,314	24,205	24,013		96,863
	計		404,055	265,936	412,570	271,344	0	1,353,905
	支出計(B)		415,789	287,361	434,146	300,989	13,128	1,451,414
	差額(A)－(B)　（注１）		△ 413,749	△ 287,350	△ 434,122	△ 300,971	△ 13,128	△ 1,449,320

（注１）差額の△(マイナス)には、県税や県債、国庫支出金等を充当しています。
（注２）各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は各項目を合計したものと一致しない場合があります。

Ⅲ　職員配置状況

	区分	４月１日	７月１日	10月１日	１月１日
配置職員数	常勤職員	128	128	127	126
	再任用職員	4	4	4	4
	臨時的任用職員	19	22	23	26
	非常勤職員	48	53	48	47
	計（人）	199	207	202	203

Ⅳ　業務実施状況

１　生徒数の状況（平成25年４月１日現在）

＜小学部＞　　（注）学級数欄について、複数学年で編成されている学級は、上の学年でカウントしています。

		１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計
学級数		1	2	4	3	2	7	19
生徒数	男	1	4	5	4	6	12	32
	女	3	1	5	2	3	6	20

＜中学部＞

		１年	２年	３年	合計
学級数		6	3	7	16
生徒数	男	15	10	14	39
	女	5	1	5	11

＜高等部＞

		１年	２年	３年	合計
学級数		13	11	10	34
生徒数	男	44	39	30	113
	女	21	19	22	62

２　年間行事予定

4月　入学式 開校記念日 全校集会
5月　避難訓練
6月　授業参観 高等部学校説明会
7月　納涼のつどい 小中学校相談会
9月　引き渡し訓練
10月　文化祭　避難訓練
11月　学校へ行こう週間 高等部願書受付
12月　高等部入学選抜(前期)
1月　授業参観 公開授業研究会 高等部入学選抜(後期)
2月　小中学部一日入学 全校集会 高等部入学説明会
3月　高等部卒業式 小中学部卒業式

３　進路の状況

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成　年
卒業者数	40	47	48	52	
就職	8	12	7	13	
福祉施設・地域作業所	30	34	38	38	
進学	0	0	0	0	
その他	2	1	3	1	

Ⅴ　業務運営に関する評価

1　平成25年度の学校目標

(1) 自立と社会参加に向けた教育課程の編成
(2) 児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな教育支援
(3) 小・中・高等部を通じたキャリア教育の推進
(4) 地域を支援するセンター的機能の充実
(5) 創意工夫と協働による信頼に根ざした学校づくりの推進

2　平成25年度の学校目標の評価

(1) 自立と社会参加に向けた教育課程の編成
・他者への思いやりを大切にした「自立と社会参加」をめざす教育実践を行うことができた。
・積極的に授業公開に取り組み、授業改善を行い、指導力やチーム力の向上につなげることができた。

(2) 児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな教育支援
・児童・生徒一人ひとりの実態やニーズに応じた指導・支援に取り組んだ。
・必要に応じて専門職等と連携を取りながらケース会を設定するなど、児童・生徒及び保護者が必要とする支援に取り組んだ。

(3) 小・中・高等部を通じたキャリア教育の推進
・進路研修会等を早い時期に設定するなどして保護者の進路に対する意識向上をはかることができた。
・児童･生徒の実態に即した生活スキルや社会的スキルの獲得に重点を置いた指導に取り組んだ。

(4) 地域を支援するセンター的機能の充実
・地域の関係機関との連携を大切にしながら、相互の教育力向上に役割を果たした。
・地域での研修会等での講師を担当するなどして特別支援教育に対する理解啓発につなげた。

(5) 創意工夫と協働による信頼に根ざした学校づくりの推進
・学校の教育活動全体を通して、児童･生徒の安全と健康を守る実践に取り組んだ。
・小田原市との間で福祉避難所としての締結を行った。
・事故や不祥事のない学校づくりのため、迅速･確実な事務処理や諸手続きの履行、ルールの遵守、不祥事ゼロプログラムに取り組んだ。

連絡先（電話番号）	０４６５（３７）２７５５